

平成30年度 静岡大学大学院 教育学研究科 教育実践高度化専攻 時間割 (1年生)

(期別 : ☆通年 ○前学期 △後学期) 単位数に○が付いた科目はセット科目のため、同名の科目を全て履修しないと単位にはなりません。

1・2 時限	月曜日						火曜日						水曜日	木曜日						金曜日
	期別	授業科目	単位	教員	領域	必修	教室	期別	授業科目	単位	教員	領域		必修	教室	期別	授業科目	単位	教員	
1・2 時限							○ 特別支援教育の現状と課題	2	石川(慶)	特支	選択	A417	実習日	○ 特別支援教育のシステムと方法	2	大塚(玲), 岡本	共通	必修	G103	実習日
							△ 教育政策の流れと学校論	2	三ツ谷, 島田, 武井, 小岱, 洪江, 梅澤, 菅野	組織	選択	A417		△ 障害児の認知発達とその支援	2	大塚(玲)	特支	選択	A417	
3・4 時限	○ 学校経営の実践と課題	2	武井, 三ツ谷, 島田, 小岱, 洪江	共通	必修	L301	○ 目指すべき学力とその評価	2	村山, 山城	共通	必修	G103	○ 子ども理解と学校教育相談の在り方	2	伊田, 原田, 鈴木(秀), 伊藤	共通	必修	A417		
	△ 学級経営の実践と課題	2	鈴木(秀), 伊藤, 伊田, 原田	共通	必修	G103	△ 授業と学習の新たな展開	2	村山, 石上, 町, 河崎, 山城	方法	選択	G103	△ 子どもが苦戦する諸問題の理解と教師の対応	2	原田, 伊田, 鈴木(秀)	生徒	選択	A417		
5・6 時限	☆ 新学習指導要領とカリキュラム経営	②	(山崎)	共通	必修	L301	○ 授業形態の特質と選択	2	町, 河崎, (益川), 山城	共通	必修	G103	○ 子どもの姿と生徒指導の今日的課題	2	伊藤, 原田, 鈴木(秀), 伊田	共通	必修	A417		
	△ 特別支援教育における授業づくり	2	山元	特支	選択	A417	△ 授業分析と校内研修の新たな展開	2	石上, 村山, 町, 河崎, 山城, (益川)	方法	選択	G103	△ 子ども同士の人間関係を作るグループアプローチの開発	2	伊藤, 原田, 伊田, 鈴木(秀)	生徒	選択	A417		
7・8 時限	○ 学校と地域の協働	2	洪江, 武井, 三ツ谷, 小岱, 島田	共通	必修	L301	○ 授業と学習のメカニズム	2	石上, 町, (益川), 山城	共通	必修	G103								
	△ 学校の危機管理の実践と課題	2	島田, 小岱, 洪江, 武井, 三ツ谷	組織	選択	A417	△ 発達障害の理解と対応	2	香野	特支	選択	A417								
9・10 時限																				
集中講義	☆ 教職実践研究方法論	2	三ツ谷, 武井, 洪江, 島田, 小岱, 石上, 村山, 町, 山城, 原田, 鈴木(秀), 伊藤, 伊田, 大塚(玲), 岡本	共通	必修	A417	☆ 新学習指導要領とカリキュラム経営	②	(山崎)	共通	必修	L301								
	☆ 教職キャリア基礎 I	2	三ツ谷, 武井, 洪江, 島田, 小岱, 石上, 村山, 町, 山城, 原田, 鈴木(秀), 伊藤, 伊田, 大塚(玲), 岡本	横断	選択	A417														
実習科目	☆ 基盤実習	3	三ツ谷, 武井, 小岱, 洪江, 島田, 石上, 村山, 町, 山城, 原田, 鈴木(秀), 伊藤, 伊田, 大塚(玲), 岡本	共通	必修	A417	△ 学校組織開発領域別実習	3	武井, 三ツ谷, 洪江, 島田, 小岱	組織	選択	A417	共通 各領域 組織 方法 生徒 特支 横断 = 全コースの学生が履修する科目 = 領域別に実習を行うが, 全領域の学生が履修する科目 = 学校組織開発領域の学生が履修する科目 = 教育方法開発領域の学生が履修する科目 = 生徒指導支援領域の学生が履修する科目 = 特別支援教育領域の学生が履修する科目 = 特定の領域に属さない選択科目							
							△ 教育方法開発領域別実習	3	石上, 村山, 町, 山城	方法	選択	G103								
							△ 生徒指導支援領域別実習	3	原田, 鈴木(秀), 伊藤, 伊田	生徒	選択	A415								
							△ 特別支援教育領域別実習	3	大塚(玲), 岡本	特支	選択	A418								

